自作派の味方

パーツショップ探訪 No.7 中澤弘光 Nakazawa Hiromitsu

豊富な品揃えの真空管専門店
クラシック コンポーネンツ

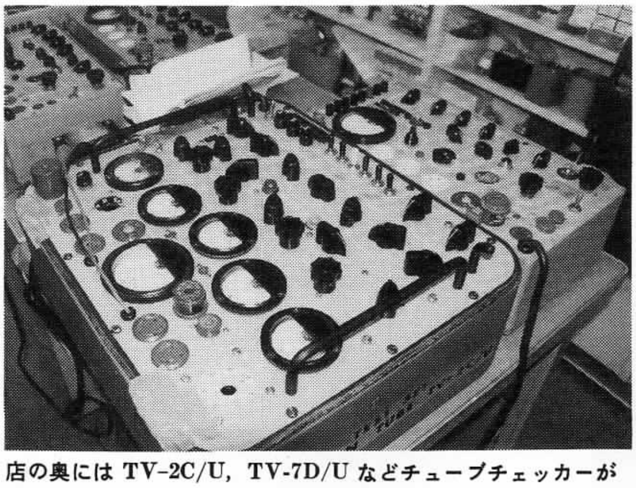

入口側から見たクラシックコンポーネンツの店内．真空管の量の多さに圧倒される

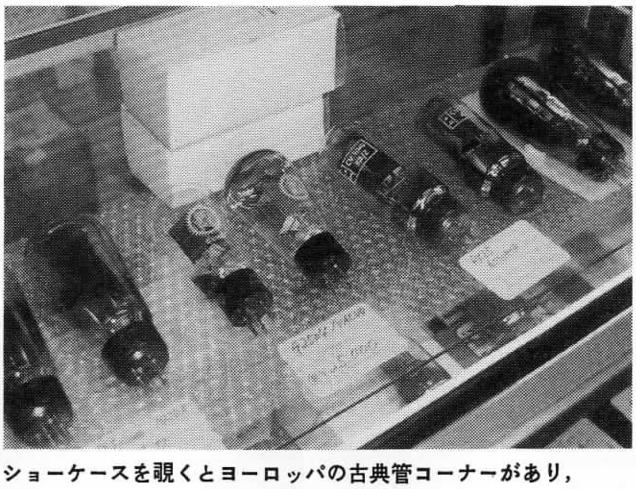
秋葉原の店舗には戦後すぐにスタートしたという老舗が多いが，クラシックコンポーネンツは平成8年の開業という比較的新しい真空管専門店である．しかしその品揃えの豊富さでは秋葉原一といってよい内容である．現在，真空管専門店の品揃えは，その人気にあやかって古典管が多いが，この店の特徴の一つは古典管のみならず近代管の珍種なども数多くあることだ．

そもそもクラシックコンポーネンツはアメリカ最大手の真空管専門商社であるリチャードソン・エレクトロニクス・ジャパンの小売り販売部門としてスタートした．そして1年後に同社と取り引きがあった明和電気株式会社が小売り業務を引き継ぎ，現在に至っている．明和電気は大型送信管専門の商社．東芝や NEC の製品の輸出が主で，米国リチャードソンとの取り引きが長いこともあって引き継いだという．そのため開業当初は品揃えのほとんどがリチャードソンのストックであるアメリカの近代管であったが，ここ1～2年でアメリカやヨーロッパの古典管がぐっと充実してきた．

明和電気とクラシックコンポーネンツの社長である櫻澤氏によると，明和電気は送信管をリチャードソンに売り，リチャードソンはクラシックコンポーネンツからの注文品種を，自社のストックのみならず他のルートから探し出して送るという関係だそうで，この品揃えの豊富さが納得できた次第．

その品揃えの一部は写真でご紹介するが，アメリカ製の古典管から近代管まで，オーディオ用以外にラジオ用，TV 用，送信管，電池管，メタル管，そ


店の奥には TV-2C/U，TV-7D/U などチューブチェッカーが並ぶ

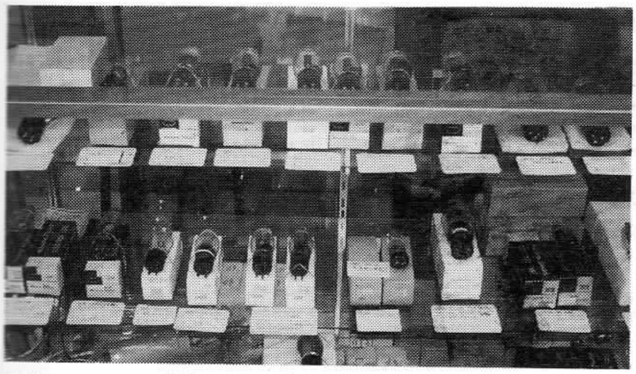

ショーケースを覗くとヨーロッパの古典管コーナーがあり，PX25 などがずらりとあった



こちらは現代管．WE418A よりもよいという NEC の 6BP16 やその改良型の 6BR22 など



なんと ST 管，GT 管，MT 管，トランスレス管などラジオ用受信管コーナーもある



300B コーナーは新旧のオリジナルから WE，中国製，ロシア製，アメリカ製（セトロン）など



カナダのハモンド社のトランスも大小各種，シングル用からプッシュプル用まである

のほか特殊管などがいくらでもあるという感じで，じっくり見ているとあっという間に30分ぐらいは過ぎてしまう．変わったところではフランス製の WE 329A 相当管である3329A が箱一杯にあった．

トランス類ではカナダのハモンド社の OPT や電源トランス，チョークコイルなどのほか，ATC の各種トランスも多数並べられていた．

小物部品ではソケットはMT管用から大型送信管用まで各種ある．そのほかMT管用放熱シールドケース，A＆Bのソリッドカーボン抵抗，デールのメタルクラッド抵抗，東一電機の箔タイプフィルムコンデンサーなどが多種揃っている．A＆Bは 2W タイプで￥180，デールは 50W タイプが￥1,000 と，お買得価格のように思えた．

また，入口を入って左側には MJ 誌ライターの刀音精（とね・あきら）氏などのアンプが展示されており，試聴もできるスペースがあるなど，ゆったりじっくりと品物を見て回れる店と言えよう．



入口のコーナーには刀音精氏の作品例などがあり，試聴もできる

クラシックコンポーネンツ（株）
東京都千代田区外神田4-4-9　松井ビル 4 F
TEL 03-5294-2277　FAX 03-5294-2270
E-mail : classic@pep. ne. jp
http : www. pep. ne. jp/classic
10 : 30〜19 : 00　木曜定休